

上谷遺跡(坂戸市)

かみや

このエリアが上谷遺跡/古墳時代後期の遺跡が展開する/背後は上谷小学校



説明板が立っている/この場所は、当時の発掘で発見された22号住居址が埋まっているらしい



かみやいせき 上谷遺跡

め
目をみはる
上谷遺跡の
たて穴住居



坂戸市文化かるた

上谷小学校を建てる前に発掘調査を行ったところ、古墳時代後期（一三〇〇年～一五〇〇年前）の竪穴式住居跡が四一軒も発見されました。住居の中からは、完全な形をした土器がたくさん出土しました。この場所には、当時発掘された住居跡が埋まっています。

中小坂地区は古墳時代後期（五世紀後半～七世紀）の集落跡が広範囲に発見されています。特に東坂戸団地の中を流れる大谷川の右岸には遺跡が連なり、古墳も築造されています。

上谷遺跡の本格的な発掘調査は、昭和五〇年（一九七五年）に上谷小学校の敷地を調査したものです。この調査で古墳時代後期の住居跡を四一軒確認し、当時使われていた土師器と呼ばれる土器



22号住居址から出土した土師器

が多量に出土しました。

古墳時代の住居址は、ほぼ一辺が五～六m前後の方形で、六〇～一〇〇cmの深さに掘られていました。屋根は萱葺きだったようで、萱の上に泥を載せていました。住居の中には、かまどを作り、ここで調理をしていました。住居の中には、かまどのそばには、食べ物などを貯蔵するための穴が掘られています。

古墳時代に使われていた土器は、土師器と呼ばれる赤っぽい素焼きの土器です。茶碗や皿として使われた杯、鍋・釜として使った甕、水などの貯蔵用に使った丸甕など、いろいろな種類の土器がありました。

この場所は、当時の発掘で発見された二二号住居址が埋まっています。発掘で出土した土器は、市立歴史民俗資料館に展示しています。

平成十九年三月

坂戸市教育委員会



住居の中の様子



22号住居址

右下の赤枠が22号住居址

全体測量図



その大半がこの上谷小学校の下に埋もれてしまったようだ/南東側から北西方向に見たところ



左手を見たところ



そこから北方向に進むと校内にこんなマウンドがあった



更に北方向に下っていくと大谷川に架かる上谷橋がある



橋の上から西方向を見たところ/左手には東坂戸団地が広がっているが、このエリアに古墳が築造されていたと云う



反対側(東方向)を見たところ



参考ホームページ

<https://ckk12850.exblog.jp/16888625/>

<https://www.city.sakado.lg.jp/uploaded/attachment/4769.pdf#search=%27%E4%B8%A%E8%B0%B7%E9%81%BA%E8%B7%A1%EF%BC%88%E5%9D%82%E6%88%B8%E5%B8%82%EF%BC%89%27>

赤枠の東坂戸団地内に所在する

